

PRESS RELEASE

<報道関係各位>

2020年7月6日
大王製紙株式会社

三島工場バイオマス発電設備稼働について

大王製紙株式会社(住所：東京都千代田区)は、この度バイオマス発電設備の新設工事が完了し、7月3日より再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT制度)を利用した電力販売を開始しましたのでお知らせいたします。



〈バイオマス発電設備〉

当社三島工場(愛媛県四国中央市)では、これまでもクラフトパルプ製造工程で発生するパルプ廃液(黒液)を黒液回収ボイラーで燃焼させ、エネルギーとして活用するバイオマス発電を行ってきました。今回、新たに黒液回収ボイラーを建設し、これまでのノウハウを活かした操業を行い、発電した電力をFIT制度で電力会社に販売します。

今回導入した最新鋭の黒液回収ボイラーは、既存設備と比較して5%の効率改善により25,000t/年のCO₂排出量削減(一般家庭の約7,200世帯分に相当)が可能になるとともに、四国地方における電力需要に対する再生可能エネルギー比率向上に貢献します。

大王製紙グループでは、「世界中の人々へ やさしい未来をつむぐ」を経営理念に掲げ、事業活動を通じて地球環境保全への貢献に取り組んでおり、業界に先駆けて建築廃材を主燃料とするバイオマス発電設備の稼働や可児工場(岐阜県可児市)での重油からLNGへの燃料転換など様々な環境対策を進めてきました。今後も、三島工場でのバイオガス製造設備新設(2020年10月稼働予定)など、再生可能エネルギーの有効利用を通じた環境負荷低減の取り組みを継続してまいります。

なお、本件に関する投資資金の一部は、2015年9月に発行した2020年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債と2018年10月に発行したグリーンボンドを活用しております。

【設備の概要】

- | | | | |
|----------|---------------|--------|---------------|
| 1) 設備能力 | : 黒液回収ボイラー | 蒸発量 | 248 t / 時 |
| | | 蒸気タービン | 発電量 62,920 kW |
| 2) 売上高 | : 約 70 億円 / 年 | | |
| 3) 設備投資額 | : 約 220 億円 | | |

【本リリースに関するお問い合わせ先】

大王製紙株式会社
エネルギー企画部 紺家(コンヤ)
TEL : 0896-23-9068